

がん検診・その他検査

年齢・性別・受診歴により受検できる検査項目が異なります。がん検診受診券をご確認ください。

【対象年齢：令和8年度末年齢】

検診名	検診内容	対象	費用	
			69歳以下	70歳以上
胃がん検診	胃部バリウムレントゲン撮影	40歳以上	個別：4,000円	個別：2,000円
	胃内視鏡検査	50歳以上（隔年）	個別：5,000円	個別：2,500円
胃がんリスク検査	問診、血液検査	40歳	集団：1,500円	
肺がん検診	胸部レントゲン撮影	40歳以上	集団：800円 個別：2,000円	集団：400円 個別：1,000円
大腸がん検診	便潜血反応検査（2日分）	40歳以上	集団：500円 個別：500円	集団：200円 個別：200円
肝炎ウイルス検査	問診、血液検査	40歳以上で 受診歴のない方	集団：1,000円 個別：1,200円	集団：500円 個別：600円
子宮頸がん検診	問診、細胞診	20歳以上の女性 （隔年）	集団：1,600円 個別：2,900円	集団：800円 個別：1,400円
乳がん検診	マンモグラフィ検査 視触診（個別検診時に希望者のみ）	40歳以上の女性 （隔年）	集団：2,000円 個別：3,000円	集団：1,000円 個別：1,500円
	超音波（エコー検査）	30歳以上の女性 （隔年）	個別：1,300円	個別：600円
前立腺がん検査	血液検査	町の特定健診集団を 希望された男性	集団：2,200円	

あじさい健診

定期的に健診を受けている方や、治療中の方も健診の対象です。1年に1度の受診をおすすめします。

検査内容

- 問診 ●身体計測 ●診察 ●血圧測定
- 尿検査 ●血液検査

対象者

令和8年度末年齢が39歳以下で
普段職場等で健康診断を受ける機会がない方

実施方法

集団健診のみ

費用

2,500円

申込方法

はがきを返送してお申し込みください。

その他

平日のみ託児を行っています。

医療機関検診

実施期間は令和9年3月31日(水)までです。

お申込みは、ご希望の医療機関へ直接電話予約をお願いします。

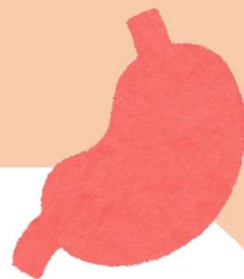
持ち物：受診券、マイナ保険証・資格確認書等、自己負担額
医療機関の指示するもの

医療機関名	胃がん(内視鏡)	胃がん(バリウム)	肺がん	大腸がん	肝炎ウイルス	乳がん(エコー)	子宮頸がん
あじさい内視鏡クリニック 電話 85-3251	○			○	○		
岡部医院 電話 82-5569			○	○	○		
開成駅光クリニック 電話 83-2701					○		○
小泉クリニック 電話 82-1117			○	○	○		
たつきファミリークリニック 電話 85-1111				○	○		
白鷗医院 電話 82-0890	○	○		○	○	○	
松元医院 電話 82-0845		○	○	○	○		

開成町

	町外 医療機関名	電話	住所	胃がん (内視鏡)	胃がん (バリウム)	肺がん	大腸がん	肝炎ウイルス	乳がん (マンモグラフィ)	子宮頸がん
南足柄市	石川医院	72-1230	塚原710-2	○	○					
	いちかわ内科クリニック	71-1311	沼田97-1	○			○			
	大内病院	74-1515	中沼594-1		○		○			
	奥津医院	74-0024	生駒381				○			
	光生診療所	74-4671	塚原1407		○		○			
	こうの内科クリニック	73-2218	岩原180-1				○			
	鈴木医院	74-0021	関本930				○			
	南足柄クリニック	72-7701	関本565-5 ヴェルミ1・3階				○			
	南足柄レディースクリニック (女性のみ)	72-5756	関本565-5 ヴェルミ1・2階204				○			○
緑陰診療所	73-3470	塚原4350-1								
中井町	朝長医院	81-1118	北田529							
	りゅう医院	81-0223	比奈窪35							
	なかいファミリークリニック	81-8822	井ノ口1876-1							
大井町	渥美医院	82-2539	金子48							
	大井町クリニック	82-8971	上大井409-5				○			
	佐藤病院	83-5611	金子1922-3	○			○			
	まえかわクリニック	86-0777	金子2601-1				○			
松田町	県立足柄上病院	83-0351	松田惣領866-1	○			○		○	○
	佐藤内科医院	82-0565	松田惣領1333				○			
	まごころ内科整研外科クリニック	83-1789	松田惣領992-1							
	松田町国民健康保険診療所	89-2119	松田町寄2538				○			
	山田内科医院	83-0061	松田庶子1543-1							
山北町	ねもと総合内科クリニック	75-0095	山北711-32							
	飛弾クリニック	75-1717	向原150	○			○			
	山北中央診療所	75-0056	山北192							
	山北町立山北診療所	77-2281	谷ヶ1018-20				○			

胃がん検診



早期発見・早期治療が鍵！ 胃がんは今や「治るがん」です

日本人は一生のうち、男性も女性も2人に1人ががんにかかっています。そして、年間36万人以上が、がんで亡くなっています。そのうち、胃がんで亡くなる方が5万人います。特に40歳以降は、歳を重ねるごとに多くなります。

胃がんには自覚症状がほとんどありません。
症状がなくても受診することが重要です。

胃がんの5年生存率※は、症状が出て病院受診した場合は60%～70%であるのに対して、**検診を受けて治療した場合は約80%以上**です。内視鏡で切除できるような早期の小さいがんなら、ほぼ100%です。

※5年生存率とは：がんと診断された人のうち5年後に生存している人の割合

つまり、早期発見・早期治療ができれば、
胃がんは「治るがん」ということです。

だからこそ、受診する価値があります。



■ 胃がん検診を受ける前に知っておいてほしいこと

がん検診を受けることで、がんを早期に発見できれば、体への負担の小さい治療法を選ぶこともでき、そのがんで死亡する危険も減ります。がんの疑いがある場合は、精密検査が必要になりますが、必ず受診してください。

Q. 胃内視鏡検査とは

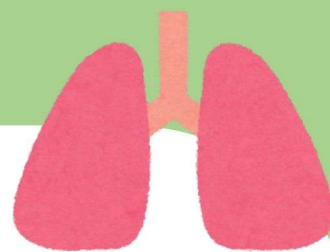


細長い管（スコープ）を口または鼻から挿入し、直接胃の粘膜を観察する方法です。バリウム透視（X線）検査と比べ、内視鏡のほうがより多く早期のがんを見つけることが可能です。

Q. バリウム透視（X線）検査とは

X線を通さない造影剤バリウムと、炭酸ガスを発生する発泡剤を飲んで、胃内の凹凸や胃の形の変化を見て判断します。X線被ばく量は少なく、被ばくによる体への影響はほとんどありません。

肺がん検診



たばこを吸う人も、
吸わない人も肺がん検診は必要です。

日本人は一生のうち、男性も女性も2人に1人ががんにかかっています。そして、年間36万人以上が、がんで亡くなっています。そのうち、肺がんによる死亡は7万3千人います。

肺がん と たばこ

肺がんの最大の原因として、**たばこ**の影響が指摘されます。たばこを吸うと肺がんにかかる**危険性が5～20倍**になるといわれています。

喫煙年数や本数が多いほどリスクは高くなり、禁煙してからの年数が長くなるほどリスクは低下します。

受動喫煙による肺がんの**リスクは1.2～2倍**に増加するといわれています。非喫煙者でも肺がんの原因として決して見過ごすことはできません。



60歳以上で肺がんのリスクは増加するため、定年後も続けて検診が必要です。

早期発見・早期治療が、
あなたの命を守ります



Q. 肺がん検診とは

胸部X線検査です。胸部X線検査による放射線が、人体へ影響を及ぼすほど問題となることはありません。

■ 肺がん検診を受ける前に知っておいてほしいこと

がん検診を受けることで、がんを早期に発見できれば、体への負担の小さい治療法を選ぶこともでき、そのがんで死亡する危険も減ります。がんの疑いがある場合は、精密検査が必要になりますが、必ず受診してください。

大腸がん検診



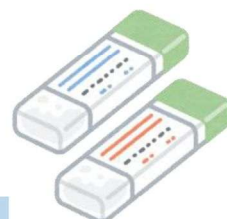
大腸がんは便で早期発見できます

Q. 大腸がん検診とは

便潜血検査（便に潜む血液の有無を調べる検査）です。ただし、便潜血検査は完璧ではありません。大腸がんの見逃しや、逆に大腸がんではないのに「大腸がんかもしれない」と言われる可能性もあります。それだけに毎年受診して健康状態を見ることが大切になります。

便潜血検査のメリット

「安心・簡単・安い」



便潜血検査による大腸がん検診は、がん検診の中でも死亡率が下がることが最もよく証明されています。便潜血検査による大腸がん検診を受けた人では死亡率が60%～80%低下し、進行がんが約50%減るとされています。



早期であれば90%以上が完治します。

■ 大腸がん検診を受ける前に知っておいてほしいこと

がん検診を受けることで、がんを早期に発見できれば、体への負担の小さい治療法を選ぶこともでき、そのがんで死亡する危険も減ります。がんの疑いがある場合は、精密検査が必要になりますが、必ず受診してください。

子宮頸がん検診

子宮頸がん 他人事と思わないで！

～20歳を過ぎたら2年に一度受診しましょう～

子宮頸がんはウイルス感染が原因です 

子宮頸がんの原因は、主に性交渉によるHPV（ヒトパピローマウイルス）感染です。HPVはごくありふれたウイルスで、多くの女性が一生に一度は感染するといわれます。感染しても、必ずがんになるわけではありません。

検診で細胞を採るだけで早期発見できます



子宮頸がんは初期症状がないため、自分ではがんであることに気づきません。

検診で死亡リスクが80%減少するとされていて、がんの一步手前（前がん病変）で見つけることも可能です。

※不正出血（月経期間外の出欠や性交時の出血）など気になる症状があれば、ほかの病気の可能性もあるので、婦人科で診察を受けましょう。



**「まだ若いから」
とって安心してできません。**

子宮頸がんになる女性は、以前は40代以上が大半でしたが、今では20～30代で増えています。



子宮頸がん検診

予防のために私たちができること

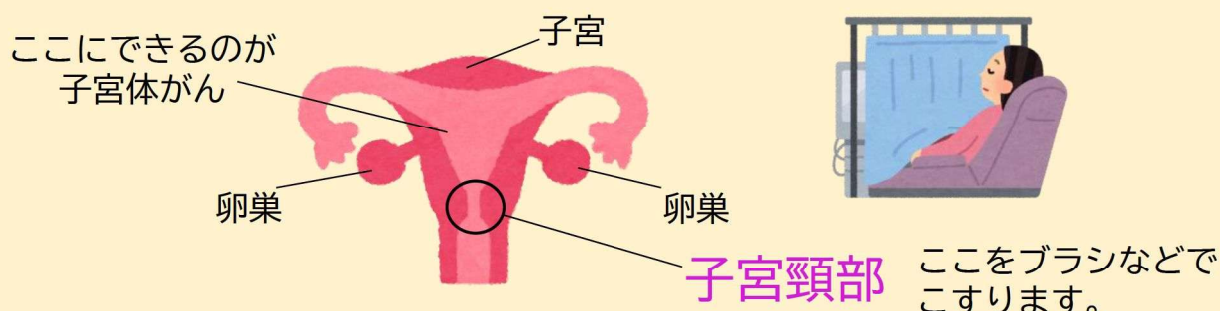
- 検診は、あなたがあなたの生命と子宮を守る確かな選択肢です。子宮頸がんは、進行が緩やかなため、定期的に検診を受けていれば、浸潤がんになる前の段階で発見できることが多く、経過観察や負担の少ない治療で済むことも多いです。
- 高度異形成や、上皮内がんと呼ばれる初期がんの段階で発見されれば、子宮頸部の一部を切除するだけで子宮を残すことが可能で、妊娠・出産もできます。

検診方法

細胞診検査

子宮頸部の細胞をブラシなどで少し採る、短時間で痛みの少ない検査です。

※たまに出血することがあるため、生理用ナプキンを用意しておくとう安心です。月経中の検診は、正しい検査が難しいため避けましょう。



■ 子宮頸がん検診を受ける前に知っておいてほしいこと

がん検診を受けることで、がんを早期に発見できれば、体への負担の小さい治療法を選ぶこともできますし、そのがんで死亡する危険も減ります。がんの疑いがある場合は、精密検査が必要になりますが、不安がらずに必ず受診しましょう。

乳がん検診

乳がんは早期発見が命をつなぐ

～40歳を過ぎたら2年に一度検診を受診しましょう～

乳がんはがんによる死亡原因の上位に位置しており、罹患する人は30歳代後半から増加し、40歳以上の女性では最も罹患する人が多いがんです。

※しこり、乳房のひきつれ、乳首から血性の液が出る、乳首の湿疹やただれなどの気になる症状がある場合には、検診ではなく、すぐに医療機関を受診してください。

検診方法

マンモグラフィ検査

- 乳房を片方ずつプラスチックの板で挟んで撮影することで、小さいしこりや石灰化を見つける乳房専用のX線検査です。乳房を圧迫して薄く伸ばすことで乳腺が広がり、少ない放射線で、より鮮明に病変が観察できます。
- 圧迫時間は数十秒ほどですが、痛みを感じることもあります。月経前1週間を避けて受診すると、痛みが比較的少ないと言われています。

※視触診や超音波検査は、乳がんを予防することを防ぐ科学的根拠が不十分なため、推奨されていません。現時点で、マンモグラフィと超音波検査を同時に受けることや、2年ごとのマンモグラフィ検査の間に超音波検査を受けることも推奨されていません。



検診で早期に発見して治療することにより、乳がんを予防することができます。早期の乳がんは自覚症状がないことが少なくないため、自覚症状がないうちに受けることが大切です。



■ 乳がん検診を受ける前に知っておいてほしいこと

がん検診を受けることで、がんを早期に発見できれば、体への負担の小さい治療法を選ぶこともでき、そのがんによる死亡の危険も減ります。がんの疑いがある場合は、精密検査が必要になりますが、必ず受診してください。